



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

実施機関名	国 土 交 通 省
政府統計コード	CVNO (すべてアルファベット半角大文字)
調査対象者ID	
確 認 コ ー ド	

建築物リフォーム・リニューアル調査 住宅 調査票

I. 貴企業の概要

貴企業の概要及び記入者の連絡先を記入してください。

(企業名称など誤りがございましたら、お手数ですが訂正をお願いします。)

企 業 名 称		
所 在 地		
建設業許可番号		
連 絡 先	記入者氏名	
	所属部署名	
	電 話 番 号	
	e - m a i l	

【建築物リフォーム・リニューアルの定義】

既存建築物の増築、一部改築及び改装を対象とし、新築工事、別棟増築及び全部を取り壊し改築する場合は含みません。

なお、建築物本体及び建築物と一体となった設備にかかる工事が対象となります(庭園・造園、修景施設、カーテン、家具、書庫、OA機器、CATV、ルームエアコン、工場の生産機械、屋外広告物等の設置・更新・修繕は除きます。)。但し点検、清掃、小額(住宅の場合は10万円未満)の消耗部品の交換・故障修理等の軽微なものは除きます。

II. 住宅にかかる元請受注高

貴企業で平成26年10月1日～平成27年3月31日の間に受注した住宅建築物にかかる元請工事の受注件数及び受注高を、それぞれ表の分類にしたがって記入してください。

期間内に受注が無い場合は、受注高の欄に「0」を記入してください。

	元 請 受 注 件 数	元 請 受 注 高 消費税込								
		千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千円
増 築 工 事 ^{※1}										
改 築 (一 部) 工 事 ^{※2}										
改 装 等 工 事 ^{※3}										
建築物リフォーム・リニューアル工事 ^{※4}										
建 築 工 事 の 総 合 計 ^{※5}										

※1 増 築 工 事 : 既存建築物の床面積が増加する工事。(改装等を同時に行う場合を含みますが、別棟の増築は含みません。)

※2 改 築 (一 部) 工 事 : 建築物の一部を除却し、用途、規模、構造の異なる建築物を建てる工事。(改装等工事を同時に行う場合を含みます。)

※3 改 装 等 工 事 : 既存建築物の建築及び建築設備にかかる工事で、新築、増築、改築のいずれにも該当しない工事。

(耐震改修、内装の模様替え、屋根のふき替え、間取りの変更等既存建築物の改修、改装、修繕、変更及び模様替え等)

※4 建築物リフォーム・リニューアル工事計 : 増築工事、改築(一部)工事、改装等工事の総計。

※5 建築工事の総合計 : 住宅建築物にかかるすべての建築工事及び建築設備工事。(新築、別棟増築、全部改築を含みます。)

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成26年10月 1件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について□欄に記入してください。

1. 工事名 〔差し支えない範囲でご記入してください〕 例：〇〇賃貸マンション改修工事																																	
2. 施工地 (市区町村名までで結構です)	都 道 府 県 市 区 町 村																																
3. 工事種類	1. 増築 2. 改築(一部) 3. 改装等 4. 不明																																
4. 用途変更の有無	1. 用途変更あり 2. 用途変更なし 3. 不明																																
変更前の用途 (用途変更ありの場合、 変更前の主な用途を記 入してください)	→ 1. 事務所 6. 医療施設 2. 店舗 7. 宿泊施設 3. 生産施設(工場、作業場) 8. 老人福祉施設 4. 倉庫・流通施設 9. その他の非住宅建築物 5. 学校の校舎 10. 不明																																
5. 工事後の住宅の種類	1. 一戸建住宅 4. 共同住宅 2. 一戸建店舗等併用住宅 5. 不明																																
6. 共同住宅の施工場所 (共同住宅の場合は記入してください)	1. 専有部分 3. 専有部分・共用部分両方 2. 共用部分 4. 不明																																
7. 住宅の利用関係	1. 賃貸 2. 賃貸以外 3. 不明																																
8. 主な構造	1. 木造 4. 軽量鉄骨造 2. コンクリート系構造(RC、SRC、CB など) 5. その他 3. 重量鉄骨造 6. 不明																																
9. 新築した年 (不明の場合は 0000 と記入してください)	西暦 年																																
10. 工事目的 (該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してくだ さい。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="padding: 5px;">劣化や壊れた部位の更新・修繕</td><td style="padding: 5px;">耐震性向上</td><td style="width: 50px;"></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">省エネルギー対策</td><td style="padding: 5px;">屋上緑化、壁面緑化</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">高齢者・身体障害者対応</td><td style="padding: 5px;">アスベスト対策</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">防災・防犯・安全性向上</td><td style="padding: 5px;">その他</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">用途変更</td><td style="padding: 5px;">不明</td><td></td></tr></table>	劣化や壊れた部位の更新・修繕	耐震性向上		省エネルギー対策	屋上緑化、壁面緑化		高齢者・身体障害者対応	アスベスト対策		防災・防犯・安全性向上	その他		用途変更	不明																		
劣化や壊れた部位の更新・修繕	耐震性向上																																
省エネルギー対策	屋上緑化、壁面緑化																																
高齢者・身体障害者対応	アスベスト対策																																
防災・防犯・安全性向上	その他																																
用途変更	不明																																
11. 工事部位 (該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してくだ さい。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center; padding: 5px;">建 築</td><td style="padding: 5px;">基礎、躯体</td><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center; padding: 5px;">設 備</td><td style="padding: 5px;">廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">屋根</td><td style="padding: 5px;">電気設備</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">外壁</td><td style="padding: 5px;">昇降機設備</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">内装</td><td style="padding: 5px;">太陽光発電設備</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">建具</td><td style="padding: 5px;">中央監視設備</td><td></td></tr><tr><td></td><td style="padding: 5px;">その他建築</td><td></td><td style="padding: 5px;">その他設備</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center; padding: 5px;">設 備</td><td style="padding: 5px;">防災関係設備</td><td style="padding: 5px;">外構(門、塀等)</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">空調調和・換気設備</td><td style="padding: 5px;">その他</td><td></td></tr><tr><td style="padding: 5px;">給水・給湯・排水・衛生器具設備</td><td style="padding: 5px;">不明</td><td></td></tr></table>	建 築	基礎、躯体	設 備	廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)		屋根	電気設備		外壁	昇降機設備		内装	太陽光発電設備		建具	中央監視設備			その他建築		その他設備		設 備	防災関係設備	外構(門、塀等)		空調調和・換気設備	その他		給水・給湯・排水・衛生器具設備	不明	
建 築	基礎、躯体		設 備		廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)																												
	屋根				電気設備																												
	外壁				昇降機設備																												
	内装				太陽光発電設備																												
	建具	中央監視設備																															
	その他建築		その他設備																														
設 備	防災関係設備	外構(門、塀等)																															
	空調調和・換気設備	その他																															
	給水・給湯・排水・衛生器具設備	不明																															
12. 発注者	1. 公共 4. 管理組合 2. 個人(居住者) 5. 民間企業等 3. 個人(非居住オーナー) 6. 不明																																
13. 着工年月(西暦) 年 月		14. 工期 日	15. 受注額(円) 消費税込み 千円未満を四捨五入 000 円																														



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

実施機関名	国 土 交 通 省
政府統計コード	CVNO (すべてアルファベット半角大文字)
調査対象者ID	
確認コード	

㊫ 建築物リフォーム・リニューアル調査 非住宅 調査票

I. 貴企業の概要

貴企業の概要及び記入者の連絡先を記入してください。
(企業名称など誤りがございましたら、お手数ですが訂正をお願いします。)

企 業 名 称		
所 在 地		
建設業許可番号		
連 絡 先	記入者氏名	
	所属部署名	
	電 話 番 号	
	e - m a i l	

【建築物リフォーム・リニューアルの定義】

既存建築物の増築、一部改築及び改装を対象とし、新築工事、別棟増築及び全部を取り壊し改築する場合は含みません。
なお、建築物本体及び建築物と一体となった設備にかかる工事が対象となります(庭園・造園、修景施設、カーテン、家具、書庫、OA機器、CATV、ルームエアコン、工場の生産機械、屋外広告物等の設置・更新・修繕は除きます。)。但し点検、清掃、小額(非住宅の場合は20万円未満)の消耗部品の交換・故障修理等の軽微なものは除きます。

II. 非住宅にかかる元請受注高

貴企業で平成26年10月1日～平成27年3月31日の間に受注した非住宅建築物にかかる元請工事の受注件数及び受注高を、それぞれ表の分類にしたがって記入してください。
期間内に受注が無い場合は、受注高の欄に「0」を記入してください。

	元 請 受 注 件 数	元 請 受 注 高 消費税込み								
		千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千円
増 築 工 事※1										
改 築 (一 部) 工 事※2										
改 装 等 工 事※3										
建築物リフォーム・リニューアル工事計※4										
建 築 工 事 の 総 合 計※5										

※1 増 築 工 事 : 既存建築物の床面積が増加する工事。(改装等を同時に行う場合を含みますが、別棟の増築は含みません。)

※2 改 築 (一 部) 工 事 : 建築物の一部を除却し、用途、規模、構造の異なる建築物を建てる工事。(改装等工事を同時に行う場合を含みます。)

※3 改 装 等 工 事 : 既存建築物の建築及び建築設備にかかる工事で、新築、増築、改築のいずれにも該当しない工事。

(耐震改修、内装の模様替え、屋根のふき替え、間取りの変更等既存建築物の改修、改装、修繕、変更及び模様替え等)

※4 建築物リフォーム・リニューアル工事計 : 増築工事、改築(一部)工事、改装等工事の総計。

※5 建築工事の総合計 : 非住宅建築物にかかるすべての建築工事及び建築設備工事。(新築、別棟増築、全部改築を含みます。)

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成26年10月 1件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について□欄に記入してください。

1. 工事名 (差し支えない範囲でご記入してください) 例: ○○工場増築工事																																										
2. 施工地 (市区町村名までで結構です)		都 道 府 県	市 区 町 村																																							
3. 工事種類		1. 増築 2. 改築(一部) 3. 改装等 4. 不明																																								
4. 工事部分の主な用途		1. 事務所 6. 医療施設 2. 店舗 7. 宿泊施設 3. 生産施設(工場、作業場) 8. 老人福祉施設 4. 倉庫・流通施設 9. その他の非住宅建築物 5. 学校の校舎 10. 不明																																								
5. 用途変更の有無 変更前の用途 (用途変更ありの場合、変更前の主な用途を記入してください)		1. 用途変更あり 2. 用途変更なし 3. 不明																																								
		} 1. 事務所 7. 宿泊施設 2. 店舗 8. 老人福祉施設 3. 生産施設(工場、作業場) 9. その他の非住宅建築物 4. 倉庫・流通施設 10. 住宅 5. 学校の校舎 11. 不明																																								
6. 主な構造		1. 木造 4. その他 2. コンクリート系構造(RC、SRC、CB など) 5. 不明 3. 鉄骨造																																								
7. 新築した年 (不明の場合は 0000 と記入してください)		西暦 年																																								
8. 工事目的 (該当あるものに○印を記入してください。その内、主たるものには◎印を記入してください。)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">劣化や壊れた部位の更新・修繕</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;">耐震性向上</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>省エネルギー対策</td> <td></td> <td>屋上緑化、壁面緑化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高齢者・身体障害者対応</td> <td></td> <td>アスベスト対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災・防犯・安全性向上</td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途変更</td> <td></td> <td>不明</td> <td></td> </tr> </table>		劣化や壊れた部位の更新・修繕		耐震性向上		省エネルギー対策		屋上緑化、壁面緑化		高齢者・身体障害者対応		アスベスト対策		防災・防犯・安全性向上		その他		用途変更		不明																				
劣化や壊れた部位の更新・修繕		耐震性向上																																								
省エネルギー対策		屋上緑化、壁面緑化																																								
高齢者・身体障害者対応		アスベスト対策																																								
防災・防犯・安全性向上		その他																																								
用途変更		不明																																								
9. 工事部位 (該当あるものに○印を記入してください。その内、主たるものには◎印を記入してください。)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">建 築</td> <td style="width: 25%;">基礎、躯体</td> <td style="width: 10%;"></td> <td rowspan="6" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">設 備</td> <td style="width: 45%;">廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>屋根・屋上</td> <td></td> <td>電気設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td></td> <td>昇降機設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内装</td> <td></td> <td>太陽光発電設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建具</td> <td></td> <td>中央監視設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他建築</td> <td></td> <td>その他設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">設 備</td> <td>防災関係設備</td> <td></td> <td>外構(門、塀等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空調調和・換気設備</td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水・給湯・排水・衛生器具設備</td> <td></td> <td>不明</td> <td></td> </tr> </table>		建 築	基礎、躯体		設 備	廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)		屋根・屋上		電気設備		外壁		昇降機設備		内装		太陽光発電設備		建具		中央監視設備		その他建築		その他設備		設 備	防災関係設備		外構(門、塀等)		空調調和・換気設備		その他		給水・給湯・排水・衛生器具設備		不明	
建 築	基礎、躯体		設 備		廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)																																					
	屋根・屋上				電気設備																																					
	外壁				昇降機設備																																					
	内装				太陽光発電設備																																					
	建具				中央監視設備																																					
	その他建築			その他設備																																						
設 備	防災関係設備		外構(門、塀等)																																							
	空調調和・換気設備		その他																																							
	給水・給湯・排水・衛生器具設備		不明																																							
10. 発注者		1. 公共 4. 民間企業等 2. 個人 5. 不明 3. 管理組合																																								
11. 着工年月(西暦) 年 月		12. 工期 日																																								
13. 受注額(円) 消費税込み 千円未満を四捨五入 000 円																																										

建築物リフォーム・リニューアル調査 の見直しに関するアンケート 住宅 調査票

本アンケートへのご協力をお願い

本アンケートは、建築物リフォーム・リニューアル調査の見直しにあたっての参考資料とすることを目的として、同調査（平成 26 年度下半期分）調査票をお送りさせて頂きました事業者の皆様に、あわせてお送りさせて頂いております。

ご記入いただいた内容については、同調査の見直しに関する参考資料として使用する以外には一切使用しません。また、情報は堅く保護され、関係者以外は閲覧できないように致します。

ご多忙のところ恐れ入りますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

本アンケートへのご回答方法について

- **建築物リフォーム・リニューアル調査票にご記入いただいた後**に、本アンケート調査にご回答ください。
- ご回答後は、建築物リフォーム・リニューアル調査票とあわせ、同封の返信用封筒に封入の上、ご投函ください。
- 本アンケートに関するご質問等については、以下にお問い合わせください。

国土交通省 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室

建築物リフォーム・リニューアル調査事務局 ストック統計係

TEL：03-5253-8111（内線28-615）（9：30～18：00）

FAX：03-5253-1566

建築物リフォーム・リニューアル調査の見直しについて

現在、住宅・建築物の建設市場において、既存ストックを活かすリフォーム・リニューアル市場が益々重要となってきており、「日本再興戦略」改訂 2014（平成 26 年 6 月 24 日閣議決定）にもリフォーム・リニューアル市場の育成が位置づけられているところです。

こうしたリフォーム・リニューアル市場の育成施策検討の基礎資料とすることを目的として、平成 21 年に建築物リフォーム・リニューアル調査を創設したところですが、市場の拡大に伴って生じている以下のような課題に対応するため、「公的統計の整備に関する基本的な計画」（平成 26 年 3 月 25 日閣議決定）に沿って、調査の見直しを検討しております。

- **リフォーム・リニューアル投資額の把握**

リフォーム・リニューアル市場の拡大に伴い、そのわが国の経済全体への貢献度・影響度が増しているところですが、わが国の経済動向を把握する GDP（国内総生産）統計には、いまだリフォーム・リニューアル工事による投資額が反映されていないのが現状です。本調査において、リフォーム工事を、投資にあたる工事と、投資にあたらない工事（維持修理工事）に分けて把握できるようにし、GDP 統計に反映させることが求められております。

- **省エネリフォーム等の工事内容の把握**

また、ストック重視型社会の実現に向けた政策を適切に推進するにあたり、省エネリフォームといった工事内容ごとの市場規模や、エネルギー消費量・二酸化炭素排出量の削減効果を把握することが求められており、本調査においては、工事目的、工事部位といった工事内容をより詳細に把握することが求められております。

現行の建築物リフォーム・リニューアル調査について

今回の調査でご回答いただいた際の状況について教えてください。

Q1 設問Ⅱ（半年分の元請受注件数・受注高）の回答方法について

回答された方 (該当者すべてに○)	1 総務担当 3 会計・経理担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください () 2 営業担当 4 工事担当
回答に用いた情報源 (該当するものすべてに○)	1 データベース（建物・工事管理、見積・会計システム等） 2 資料（工事台帳、見積書、契約書等） 3 その他 ⇒具体的にご記入ください ()
ご記入に要した時間 (一つだけに○)	1 半日以内 3 1～2営業日以内 5 5～6営業日以内 7 10営業日以上 2 半日から1日以内 4 3～4営業日以内 6 7～10営業日以内 8 わからない

Q2 設問Ⅲ（個別の元請工事の内容）でご回答いただいた工事の選び方について（一つだけに○）

1 全社のデータベースから毎月最初の2件を選んだ 2 全社のデータベースから代表的な工事を選んだ 3 支社・事業部等を1つ選び、当該支社・事業部等で毎月最初の2件を選んだ 4 支社・事業部等をいくつか選び、各支社・事業部等で代表的な工事を選んだ 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ()
--

Q3 設問Ⅲ（個別の元請工事の内容）の回答方法について

回答された方 (該当者すべてに○)	1 総務担当 3 会計・経理担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください () 2 営業担当 4 工事担当
回答に用いた情報源 (該当するものすべてに○)	1 データベース（建物・工事管理、見積・会計システム等） 2 内部資料（工事台帳、見積書、契約書等） 3 共有資料（設計図書、施工計画書、届出書等） 4 その他 ⇒具体的にご記入ください ()
回答に要した時間※ (一つだけに○)	1 半日以内 3 1～2営業日以内 5 5～6営業日以内 7 10営業日以上 2 半日から1日以内 4 3～4営業日以内 6 7～10営業日以内 8 わからない

※複数の部署で情報収集や記入をしていただいた場合は、それらの延べ時間を教えてください。

設問Ⅱにおける「維持修理工事」分に関する設問の追加について

設問Ⅱ（半年分の元請受注件数・受注高）において「**改装等工事**」のうち「**維持修理工事**」分を分けて集計していただくことを検討しております。

調査票改定案

Ⅱ. 住宅にかかる元請受注高

貴企業で平成●年●月●日～平成●年●月●日の間に受注した**住宅建築物**にかかる元請工事の受注件数及び受注高を、それぞれ表の分類にしたがって記入してください。

期間内に受注が無い場合は、受注高の欄に「0」を記入してください。

	元 請 受 注 件 数	元 請 受 注 高 消費税込み								
		千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千円
増 築 工 事										
改 築（一 部）工 事										
改 装 等 工 事										
うち 維持修理工事										
建築物リフォーム・リニューアル工事計										
建 築 工 事 の 総 合 計										

追加事項

改装等工事を「改良工事」と「維持修理工事」に分けることとし、維持修理工事分をご記入いただきます。

改良工事 機能向上または耐久性向上を伴う工事

- 省エネ化、バリアフリー化、耐震化、新たな機能を備えた設備機器への更新等、機能の向上を伴う改修・修繕
- 仕上げ材等の耐久性・耐候性・防水性等の向上を伴う補修・修理・交換等
- マンション等の大規模修繕工事等、建築物全体の耐久性の向上を伴うもの

維持修理工事 機能向上も耐久性向上も伴わない、建築物の正常な機能を保つためのみの工事

- 経常的な消耗部品の交換・故障修理等
- その他の壊れた部分・損耗した部分のみの交換・修理等

Q4 「維持修理工事」を分けた集計 について

半年分の元請受注件数、元請受注高について、「維持修理工事」のものだけに分けて集計することができますか（一つだけに○）。

- 1 分けて集計できる（維持修理に関する定義に合致する情報を管理している）
- 2 分けて集計できる（維持修理に関する類似の情報、もしくは読み替えられる情報を管理している）
⇒貴社で管理されている情報における維持修理工事か否かの判断基準を具体的に教えてください（ ）
- 3 分けて集計できない（維持修理に関する情報は管理していない）

Q5 「維持修理工事」を分ける方法 について

維持修理工事か否かを定義に沿って分けることが難しい場合には、工事金額によって分けて集計いただくことも検討しております（例えば 70 万円で分け、それ未満の工事を持修理工事と見なす）。

この場合、貴社ではどちらの方法で分けて集計されますか（一つだけに○）。

- 1 定義に沿って分けて集計する
- 2 工事金額によって分けて集計する

Q6 「維持修理工事」を分ける目安となる工事金額(70 万円)の妥当性 について

維持修理工事か否かを分ける工事金額を 70 万円※とすることは、貴社における工事内容と照らして妥当と思われますか（一つだけに○）。

※平成 26 年度に維持修理工事か否かについて調査した結果を用いた試算値。

- 1 妥当だと思う
- 2 妥当ではない ⇒妥当と思う金額（ ）
- 3 判断できない

Q7 「維持修理工事」の割合について

もし、よろしければ、今回の調査でご回答いただいた設問Ⅱの受注件数・受注高（平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月契約分）について、Q5 でご回答いただいた方法で建築物リフォーム・リニューアル工事全体に占める維持修理工事の割合を算出していただき、ご記入ください。

建築物リフォーム・リニューアル工事の元請受注件数に占める維持修理工事の割合	%
建築物リフォーム・リニューアル工事の元請受注高に占める維持修理工事の割合	%

$$\frac{\text{維持修理工事 の 受注件数 又は 受注高}}{\text{建築物リフォーム・リニューアル工事計 の 受注件数 又は 受注高}} \times 100$$

設問Ⅲにおける「改装等工事の内容」に関する設問の追加について

設問Ⅲ（個別の元請工事内容）において、「**改装等工事の内容**」を追加でお伺いすることを検討しております。

調査票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名			
3. 工事種類	1. 増築	2. 改築(一部)	3. 改装等
改装等工事の内容 (3.工事種類が改装等工事の場合、記入してください)	1. 改良工事 (機能向上または耐久性向上を伴う工事)	2. 維持修理工事 (機能向上も耐久性向上も伴わない工事)	3. 不明

追加事項

Q8 「改装等工事の内容」の回答方法について

「**改装等工事の内容**」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者（Q3 で選ばれた方）で回答できる 2 現行調査で関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 (1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ())
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料（Q3 で選んだ資料）で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください ()
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査（Q3 で選ばれた時間）とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

設問Ⅲにおける「建物全体の延べ床面積」に関する設問の追加について

設問Ⅲ（個別の元請工事内容）において、工事を行った「建物全体の延べ床面積」を追加でお伺いすることを検討しております。

調查票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名									
8. 主な構造	1. 木造 2. コンクリート系構造 (RC、SRC、CB など) 3. 重量鉄骨造 4. 軽量鉄骨造 5. その他 6. 不明								
9. 新築した年 (不明の場合は 0000 と記入してください)	西暦 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 年								
建物全体の延べ床面積 (不明の場合は 000000 と記入してください)	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> m ²								

追加事項

Q9 「建物全体の延べ床面積」の回答方法について

工事を行った「建物全体の延べ床面積」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者（Q3 で選ばれた方）で回答できる 2 現行調査に関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 { 1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください（ }
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料（Q3 で選んだ資料）で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください（
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査（Q3 で選ばれた時間）とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

設問Ⅲにおける「省エネ目的の工事部位」に関する設問の追加について

設問Ⅲにおいて、**省エネルギー対策目的で行った工事の部位**について追加でお伺いすることを検討しております。

調査票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名																								
10. 工事目的 （該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。）		<table border="1"> <tr> <td>劣化や壊れた部位の更新・修繕</td> <td>耐震性向上</td> </tr> <tr> <td>省エネルギー対策</td> <td>屋上緑化、壁面緑化</td> </tr> <tr> <td>高齢者・身体障害者対応</td> <td>アスベスト対策</td> </tr> <tr> <td>防災・防犯・安全性向上</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>用途変更</td> <td>不明</td> </tr> </table>		劣化や壊れた部位の更新・修繕	耐震性向上	省エネルギー対策	屋上緑化、壁面緑化	高齢者・身体障害者対応	アスベスト対策	防災・防犯・安全性向上	その他	用途変更	不明											
劣化や壊れた部位の更新・修繕	耐震性向上																							
省エネルギー対策	屋上緑化、壁面緑化																							
高齢者・身体障害者対応	アスベスト対策																							
防災・防犯・安全性向上	その他																							
用途変更	不明																							
11. 工事部位 （該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。）		<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">建 築</td> <td>基礎、躯体</td> <td rowspan="6">設 備</td> <td>廃棄物処理設備（ごみ処理、浄化槽など）</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>昇降機設備</td> </tr> <tr> <td>内装</td> <td>太陽光発電設備</td> </tr> <tr> <td>建具</td> <td>中央監視設備</td> </tr> <tr> <td>その他建築</td> <td>その他設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設 備</td> <td>防災関係設備</td> <td>外構（門、塀等）</td> </tr> <tr> <td>空気調和・換気設備</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>給水・給湯・排水・衛生器具設備</td> <td>不明</td> </tr> </table>		建 築	基礎、躯体	設 備	廃棄物処理設備（ごみ処理、浄化槽など）	屋根	電気設備	外壁	昇降機設備	内装	太陽光発電設備	建具	中央監視設備	その他建築	その他設備	設 備	防災関係設備	外構（門、塀等）	空気調和・換気設備	その他	給水・給湯・排水・衛生器具設備	不明
建 築	基礎、躯体	設 備	廃棄物処理設備（ごみ処理、浄化槽など）																					
	屋根		電気設備																					
	外壁		昇降機設備																					
	内装		太陽光発電設備																					
	建具		中央監視設備																					
	その他建築		その他設備																					
設 備	防災関係設備	外構（門、塀等）																						
	空気調和・換気設備	その他																						
	給水・給湯・排水・衛生器具設備	不明																						
省エネ目的の工事部位 （省エネルギー対策を目的とする場合は、 該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。）		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">建 築</td> <td>屋根（天井を含む）</td> <td rowspan="4">設 備</td> <td>照明設備</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>昇降機設備</td> </tr> <tr> <td>内装（床を含む）</td> <td>太陽光発電設備</td> </tr> <tr> <td>外部建具</td> <td>コージェネレーションシステム</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設 備</td> <td>空気調和・冷暖房設備（中央熱源）</td> <td>BEMS・HEMS</td> </tr> <tr> <td>空気調和・冷暖房設備（個別熱源）</td> <td>屋上緑化・壁面緑化</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>給湯設備</td> <td></td> </tr> </table>		建 築	屋根（天井を含む）	設 備	照明設備	外壁	昇降機設備	内装（床を含む）	太陽光発電設備	外部建具	コージェネレーションシステム	設 備	空気調和・冷暖房設備（中央熱源）	BEMS・HEMS	空気調和・冷暖房設備（個別熱源）	屋上緑化・壁面緑化	換気設備	不明	給湯設備			
建 築	屋根（天井を含む）	設 備	照明設備																					
	外壁		昇降機設備																					
	内装（床を含む）		太陽光発電設備																					
	外部建具		コージェネレーションシステム																					
設 備	空気調和・冷暖房設備（中央熱源）	BEMS・HEMS																						
	空気調和・冷暖房設備（個別熱源）	屋上緑化・壁面緑化																						
	換気設備	不明																						
	給湯設備																							

追加事項

Q10 「省エネ目的の工事部位」の回答方法について

「省エネ目的の工事部位」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者 (Q3 で選ばれた方) で回答できる 2 現行調査で関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 (1 総務担当 2 営業担当) (3 会計・経理担当 4 工事担当) (5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ())
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料 (Q3 で選んだ資料) で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください ()
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査 (Q3 で選ばれた時間) とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

Q11 「省エネ目的の工事部位」の選択肢について

「省エネ目的の工事部位」の選択肢についてご意見などがありましたらご記入ください。

調査の実施について

Q12 回答しやすい調査周期について

現在半年毎となっている調査周期を四半期毎に変更することで、回答のご負担を軽減することを検討しておりますが、貴社においてはどの方法が回答しやすいと思われますか（一つだけに○）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 直近1年間の受注実績について、 1年毎に調査を実施（年1回調査を実施）	調査対象期間 ▲調査											
2 直近半年間の受注実績について、 半年毎に調査を実施（年2回調査を実施）												
3 直近四半期(3ヶ月)間の受注実績について、 四半期毎に調査を実施（年4回調査を実施）												
4 直近1ヶ月間の受注実績について、 1ヶ月毎に調査を実施（年12回調査を実施）												
5 その他 ⇒具体的にご記入ください（												

Q13 現在の建築物リフォーム・リニューアル調査について

調査票の記入にあたって記入が困難といった問題、今後の建築物リフォーム・リニューアル調査のあり様に対するご意見などがありましたら教えてください。

これで記入は終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
このアンケートは、建築物リフォーム・リニューアル調査票とあわせてご提出くださいますようお願い申し上げます。

建築物リフォーム・リニューアル調査 の見直しに関するアンケート 非住宅 調査票

本アンケートへのご協力をお願い

本アンケートは、建築物リフォーム・リニューアル調査の見直しにあたっての参考資料とすることを目的として、同調査（平成 26 年度下半期分）調査票をお送りさせて頂きました事業者の皆様に、あわせてお送りさせて頂いております。

ご記入いただいた内容については、同調査の見直しに関する参考資料として使用する以外には一切使用しません。また、情報は堅く保護され、関係者以外は閲覧できないように致します。

ご多忙のところ恐れ入りますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

本アンケートへのご回答方法について

- **建築物リフォーム・リニューアル調査票にご記入いただいた後**に、本アンケート調査にご回答ください。
- ご回答後は、建築物リフォーム・リニューアル調査票とあわせ、同封の返信用封筒に封入の上、ご投函ください。
- 本アンケートに関するご質問等については、以下にお問い合わせください。

国土交通省 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室

建築物リフォーム・リニューアル調査事務局 スtock統計係

TEL：03-5253-8111（内線28-615）（9：30～18：00）

FAX：03-5253-1566

建築物リフォーム・リニューアル調査の見直しについて

現在、住宅・建築物の建設市場において、既存ストックを活かすリフォーム・リニューアル市場が益々重要となっており、「日本再興戦略」改訂 2014（平成 26 年 6 月 24 日閣議決定）にもリフォーム・リニューアル市場の育成が位置づけられているところです。

こうしたリフォーム・リニューアル市場の育成施策検討の基礎資料とすることを目的として、平成 21 年に建築物リフォーム・リニューアル調査を創設したところですが、市場の拡大に伴って生じている以下のような課題に対応するため、「公的統計の整備に関する基本的な計画」（平成 26 年 3 月 25 日閣議決定）に沿って、調査の見直しを検討しております。

- **リフォーム・リニューアル投資額の把握**

リフォーム・リニューアル市場の拡大に伴い、そのわが国の経済全体への貢献度・影響度が増しているところですが、わが国の経済動向を把握する GDP（国内総生産）統計には、いまだリフォーム・リニューアル工事による投資額が反映されていないのが現状です。本調査において、リフォーム工事を、投資にあたる工事と、投資にあたらない工事（維持修理工事）に分けて把握できるようにし、GDP 統計に反映させることが求められております。

- **省エネリフォーム等の工事内容の把握**

また、ストック重視型社会の実現に向けた政策を適切に推進するにあたり、省エネリフォームといった工事内容ごとの市場規模や、エネルギー消費量・二酸化炭素排出量の削減効果を把握することが求められており、本調査においては、工事目的、工事部位といった工事内容をより詳細に把握することが求められております。

現行の建築物リフォーム・リニューアル調査について

今回の調査でご回答いただいた際の状況について教えてください。

Q1 設問Ⅱ（半年分の元請受注件数・受注高）の回答方法について

回答された方 (該当者すべてに○)	1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ()
回答に用いた情報源 (該当するものすべてに○)	1 データベース（建物・工事管理、見積・会計システム等） 2 資料（工事台帳、見積書、契約書等） 3 その他 ⇒具体的にご記入ください ()
ご記入に要した時間 (一つだけに○)	1 半日以内 2 半日から1日以内 3 1～2営業日以内 4 3～4営業日以内 5 5～6営業日以内 6 7～10営業日以内 7 10営業日以上 8 わからない

Q2 設問Ⅲ（個別の元請工事の内容）でご回答いただいた工事の選び方について（一つだけに○）

1 全社のデータベースから毎月最初の2件を選んだ 2 全社のデータベースから代表的な工事を選んだ 3 支社・事業部等を1つ選び、当該支社・事業部等で毎月最初の2件を選んだ 4 支社・事業部等をいくつか選び、各支社・事業部等で代表的な工事を選んだ 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ()
--

Q3 設問Ⅲ（個別の元請工事の内容）の回答方法について

回答された方 (該当者すべてに○)	1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ()
回答に用いた情報源 (該当するものすべてに○)	1 データベース（建物・工事管理、見積・会計システム等） 2 内部資料（工事台帳、見積書、契約書等） 3 共有資料（設計図書、施工計画書、届出書等） 4 その他 ⇒具体的にご記入ください ()
回答に要した時間※ (一つだけに○)	1 半日以内 2 半日から1日以内 3 1～2営業日以内 4 3～4営業日以内 5 5～6営業日以内 6 7～10営業日以内 7 10営業日以上 8 わからない

※複数の部署で情報収集や記入をしていただいた場合は、それらの延べ時間を教えてください。

設問Ⅲにおける「改裝等工事の内容」に関する設問の追加について

設問Ⅲ（個別の元請工事内容）において、「改裝等工事の内容」を追加でお伺いすることを検討しております。

調査票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名			
3. 工事種類	1. 増築	2. 改築(一部)	3. 改裝等
改裝等工事の内容 (3.工事種類が改裝等工事の場合、記入してください)	1. 改良工事 (機能向上または耐久性向上を伴う工事)	2. 維持修理工事 (機能向上も耐久性向上も伴わない工事)	3. 不明

追加事項

改良工事 機能向上または耐久性向上を伴う工事

- 省エネ化、バリアフリー化、耐震化、新たな機能を備えた設備機器への更新等、機能の向上を伴う改修・修繕
- 仕上げ材等の耐久性・耐候性・防水性等の向上を伴う補修・修理・交換等
- マンション等の大規模修繕工事等、建築物全体の耐久性の向上を伴うもの

維持修理工事 機能向上も耐久性向上も伴わない、建築物の正常な機能を保つためのみの工事

- 経常的な消耗部品の交換・故障修理等
- その他の壊れた部分・損耗した部分のみの交換・修理等

Q4 「改裝等工事の内容」の回答方法について

「改裝等工事の内容」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者（Q3 で選ばれた方）で回答できる 2 現行調査で関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 (1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ())
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料（Q3 で選んだ資料）で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください ()
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査（Q3 で選ばれた時間）とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

設問Ⅲにおける「建物全体の延べ床面積」に関する設問の追加について

設問Ⅲ（個別の元請工事内容）において、**工事を行った「建物全体の延べ床面積」**を追加でお伺いすることを検討しております。

調査票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名			
6. 主な構造	1. 木造 2. コンクリート系構造 (RC、SRC、CB など) 3. 鉄骨造	4. その他 5. 不明	☐
7. 新築した年 (不明の場合は 0000 と記入してください)	西暦		年
建物全体の延べ床面積 (不明の場合は 000000 と記入してください)			m ² 追加事項

Q5 「建物全体の延べ床面積」の回答方法について

工事を行った「建物全体の延べ床面積」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者 (Q3 で選ばれた方) で回答できる 2 現行調査で関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 (1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ())
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料 (Q3 で選んだ資料) で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください ()
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査 (Q3 で選ばれた時間) とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

設問Ⅲにおける「省エネ目的の工事部位」に関する設問の追加について

設問Ⅲにおいて、**省エネルギー対策目的で行った工事の部位**について追加でお伺いすることを検討しております。

調査票改定案

Ⅲ. 個別の元請工事内容（契約月 平成●年●月 ●件目）

上記契約月に貴企業で受注した工事1件ごとに記入の手引きにしたがって、下記の内容について口欄に記入してください。

1. 工事名			
8. 工事目的 (該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。)		劣化や壊れた部位の更新・修繕	耐震性向上
		省エネルギー対策	屋上緑化、壁面緑化
		高齢者・身体障害者対応	アスベスト対策
		防災・防犯・安全性向上	その他
		用途変更	不明
9. 工事部位 (該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。)		基礎、躯体	廃棄物処理設備(ごみ処理、浄化槽など)
		屋根	電気設備
		外壁	昇降機設備
		内装	太陽光発電設備
		建具	中央監視設備
		その他建築	その他設備
		防災関係設備	外構(門、塀等)
		空調調和・換気設備	その他
		給水・給湯・排水・衛生器具設備	不明
省エネ目的の工事部位 (省エネルギー対策を目的とする場合は、 該当あるものに○印を記入してください。 その内、主たるものには◎印を記入してください。) ←		屋根(天井を含む)	照明設備
		外壁	昇降機設備
		内装(床を含む)	太陽光発電設備
		外部建具	コージェネレーションシステム
		空調調和・冷暖房設備(中央熱源)	BEMS・HEMS
		空調調和・冷暖房設備(個別熱源)	屋上緑化・壁面緑化
		換気設備	不明
		給湯設備	

追加事項

Q6 「省エネ目的の工事部位」の回答方法について

「省エネ目的の工事部位」に回答いただくとした場合、回答される方、回答に用いる情報源、記入に要する時間に影響がありますか。

回答される方 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ担当者 (Q3 で選ばれた方) で回答できる 2 現行調査で関わっていない担当者が回答する必要がある ⇒回答することとなるご担当 (1 総務担当 2 営業担当 3 会計・経理担当 4 工事担当 5 上記以外 ⇒具体的にご記入ください ())
回答に用いる情報源 (一つだけに○)	1 現行調査と同じ資料 (Q3 で選んだ資料) で記入できる 2 現行調査では使っていない資料の収集が必要 ⇒具体的にご記入ください ()
記入に要する時間 (一つだけに○)	1 現行調査 (Q3 で選ばれた時間) とほとんどかわらない 2 半日以内の増加 3 半日から1日以内の増加 4 1～2営業日以内の増加 5 3～4営業日以内の増加 6 5～6営業日以内の増加 7 7～10営業日以内の増加 8 10営業日以上増加 9 わからない

Q7 「省エネ目的の工事部位」の選択肢について

「省エネ目的の工事部位」の選択肢についてご意見などがありましたらご記入ください。

調査の実施について

Q8 回答しやすい調査周期について

現在半年毎となっている調査周期を四半期毎に変更することで、回答のご負担を軽減することを検討しておりますが、貴社においてはどの方法が回答しやすいと思われますか（一つだけに○）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 直近1年間の受注実績について、 1年毎に調査を実施（年1回調査を実施）	調査対象期間 ▲調査											
2 直近半年間の受注実績について、 半年毎に調査を実施（年2回調査を実施）												
3 直近四半期(3ヶ月)間の受注実績について、 四半期毎に調査を実施（年4回調査を実施）												
4 直近1ヶ月間の受注実績について、 1ヶ月毎に調査を実施（年12回調査を実施）												
5 その他 ⇒具体的にご記入ください（												

Q9 現在の建築物リフォーム・リニューアル調査について

調査票の記入にあたって記入が困難といった問題、今後の建築物リフォーム・リニューアル調査のあり様に対するご意見などがありましたら教えてください。

これで記入は終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
このアンケートは、建築物リフォーム・リニューアル調査票とあわせてご提出くださいますようお願い申し上げます。